

《主な事業の概要》

本県においては、スギ・ヒノキ等の人工林資源の充実や木材需要の増大等を背景に、林業生産活動が活発化していますが、一方で、林業労働力が不足していることもあります。伐採後、再造林がされない森林や間伐など管理の行き届かない森林の増加が懸念されています。

林業の成長産業化と併せて、森林の有する多面的機能を持続的に発揮するためには、木材の安定供給や再造林の確実な実施など、森林資源の循環利用を適切に実施する必要があることから、林業労働力の安定的確保と経営基盤の充実した林業事業体の育成を図ることが大きな課題となっています。

こうした状況を踏まえ、令和6年度は、関係機関・団体とも連携しながら、林業への新規就業の促進や就労条件の改善支援、技術・技能の向上のための各種研修等の実施など林業従事者の確保・育成を図るとともに、意欲と能力のある林業経営者等を対象とした雇用拡大等の取組への支援や雇用管理の改善指導などを一体的に取り組むことで、本県林業の振興発展に寄与しました。

〔基金事務局事業〕

1 林業就労改善推進事業

林業就業者の就労条件の改善や新規就業の促進等を図るため、社会保険、退職金共済及び任意労災保険の掛金助成を始めとする各種助成を行った。

2 林業就業者定着促進事業

林業就業者の定着を図るため、林業の中で最も苛酷な下刈作業に従事する者に対する支援を行った。

3 新規林業就業者確保対策事業

(1) かごしま林業の魅力発信ツアーの実施（県受託事業）

① 県内の実業系高校の1年生を対象に、林業の仕事や魅力について理解を深めてもらい、地元での林業就業を促進するため、以下の5校において、バスツアーを実施した。

- ・令和6年10月15日（火） 実施校：薩南工業高校
- ・令和6年11月1日（金） 実施校：鹿屋工業高校
- ・令和6年12月4日（水） 実施校：加治木工業高校
- ・令和6年12月6日（金） 実施校：伊佐農林高校
- ・令和6年12月11日（水） 実施校：鹿屋農業高校

<内容>

- ・森林組合の概要説明
- ・現場作業の説明と実演（チェーンソー→グラップル→プロセッサー→フォワーダ）
- ・木材加工施設の視察
(山佐木材、外山木材、ワイテック、さつまファインウッド)

② かごしま林業大学校のオープンキャンパスへ1校参加した。
令和6年7月20日（土） 実施校：鹿屋農業高校

(2) 経営者や人事担当者等向け研修会開催（県受託事業）

木材需要の増加が見込まれる中、伐採や再造林、下刈等の増加に対応し、担い手の確保・育成や労働環境の整備、生産性の向上を一体的に進め、林業への新規就業の促進と定着化を図るため、林業事業体の経営者やチームリーダー等を対象に、人材育成や経営意識改革に向けた研修として「林業事業体経営戦略セミナー」を実施した。

- ・ 開催日：令和6年9月20日（金）
- ・ 場 所：カクイックス交流センター 中研修室第3（東棟4階）
- ・ 内 容：講 演
 - （演題）「木を伐らない林業～株式会社中川 新しい林業の働き方の取組～」
(講師) 株式会社中川創業者兼従業員 中川雅也氏
 - （演題）「林業における働き方改革と高齢作業者の安全衛生対策について」
(講師) 鹿児島働き方改革推進支援センター長 山崎秀一氏
- ・ 受講者：13事業体25名

4 「鹿児島スーパーきこり塾」推進事業（高度技能者育成研修）（県受託事業）

ICT（情報処理および通信技術を利用した産業やサービス）等を活用し、生産性向上や造林作業の省力化の実現を図り、従事者所得や安全性の向上に繋げるため、伐採から再造林・保育に至る「新しい林業」に向けた取組みを推進する高度技能者育成研修を実施した。

- ・ 開催日：令和6年11月21日（木）
- ・ 場 所：薩摩川内市 本俣地区公民館（藤川山林（株）鹿児島事業所隣り）
- ・ 内 容：講演及び現場研修
 - （演 题）ICT機器により取得したデータの解析及び省力化・効率化のための活用事例紹介
 - （現場研修）「（株）マプリィ」のICT機器による実演と現場データの取得方法
(講 師) (株)マプリィ営業部 佐藤喬輔氏
- ・ 受講者：9事業体25名

5 事業体育成対策事業（「意欲と能力のある林業経営者」の育成）

(1) 「意欲と能力のある林業経営者」の雇用拡大等の取組支援（県受託事業）

森林経営管理制度における森林整備の中核的担い手である「意欲と能力のある林業経営者」が実施する雇用拡大等の取組を支援し、経営基盤の強化を図った。

- ・ 助成事業体数 13事業体
<内 容>
 - ・ 雇用の拡大 なし
 - ・ 雇用管理の改善 雇用者への防護服・防振手袋等、エビペンの整備, KYT研修会の開催
清涼ファン、トランシーバーの購入、VRレンタル、現場位置情報共有システムの検証
 - ・ 作業の効率化 GNS森林測量機器の整備、森林計測機器マプリィLiDAR LA03(バックパック式地上計測)、撮影用ドローン式、林業用繊維ロープ、刈払機の購入
木材破碎機、高性能林業機械(グラップル、プロセッサ、

フォワーダ)のリース

(2) 作業システム改善指導(県受託事業)

林業事業体の現場従事者を対象に、現場条件に応じた効率的な高性能林業機械作業システム等への改善を図るため、専任アドバイザーによる現場指導を行った。

- ・事業体数 25 事業体、指導日数 149 日、累計 166 回

6 安全就労体制整備事業

健康管理や安全確保に必要な設備等の購入に係る経費の支援を行った。

7 女性就労環境整備事業

女性の就労促進及び就労環境改善に必要な設備等の購入に係る経費を支援する取組みであるが、要望はなかった。

8 新規参入促進事業

新規参入者に対する装備品等の支給、定住化促進に係る経費の支援を行った。

9 林業担い手育成事業

多能工技能者等養成研修及び林業技術習得のための派遣研修に係る経費の支援を行った。

10 特認事業

地域林業担い手の育成確保対策等のために理事長が特に必要と認める事業に要する経費の支援を行った。

〔林業労働力確保支援センター事業〕

1 森の研修館かごしま運営管理事業(指定管理:県受託事業)

「森の研修館かごしま」の指定管理者として、同施設の適切な運営・管理に努めた。

2 新規林業就業者確保対策事業(県受託事業)

林業担い手の確保を図るため、関係機関と連携しながら、新規学卒者やU・I ターン希望者、若者等を対象に就業支援フェアの開催等を行うほか、WEBサイトを活用し、林業の魅力をPRする情報や林業就業に役立つ情報を発信した。

- ・ 就業応援フェアー等参加 6回 相談者 121人
- ・ ハローワーク等訪問 20箇所
- ・ P R 冊子・チラシ作成・配布 相談者向け P R 冊子 (400部)
ガイダンス用チラシ (2種:各300部)

3 「鹿児島スーパーきこり塾」推進事業(県受託事業)

林業への就業希望者を対象とした体験学習及び特別教育等講習や、労働安全衛生法に基づく技能講習等を実施した。

また、高校生及び保護者等に林業の仕事や魅力について理解を深めてもらい、林業への就業意識を高めるため、林業関係者との交流の場となるイベントを開催するとともに、林科系高校生等に対し、就業前における林業事業体での現地実習を実施するとともに、現場経験を積んだ現場技能者等を対象に、森林・林業の基礎知識や調査技術を学び直す研修等を開催した。

さらに、林業就業者等に対し、造林樹種の特性等の基礎知識や植栽・下刈り方法等の技術を習得させるための研修を実施するとともに、再造林の効率化や高性能林業機械の資格取得者の操作技術の習熟等を図るための研修を実施した。

- ・ 鹿児島きこり塾 入門 17人 (研修日数 5日)
専門 9人 (研修日数 14日)
- ・ 技能講習・特別教育等 延べ 466人 (研修日数 57日)
- ・ 高校生地元定着促進 2回 (伊佐農林高校、鹿屋農業高校)
- ・ インターンシップ (高校生) 6人 (研修日数 8日)
- ・ インターンシップ (一般) 2人 (研修日数 3日)
- ・ 森林・林業リカレント研修 12人 (研修日数 1日)
- ・ 再造林・保育技術者育成研修 3人 (研修日数 1日)
- ・ 実践研修 延べ 18人 (研修日数 5日)

4 事業体育成対策事業（「意欲と能力のある林業経営者」の育成）(県受託事業)

「意欲と能力のある林業経営者」の能力等の維持・向上及び「意欲と能力のある林業経営者」を目指す林業事業体の経営改善、雇用管理の改善等を図るため、林業事業体への個別指導を実施した。

- ・ 巡回指導等 88事業体
- ・ 経営診断 5回
- ・ 雇用管理研修会 1回 19事業体 20名参加

5 林業大学校開校準備事業【実技指導者養成研修】(県受託事業)

林業大学校の実技指導者の候補者となる林業事業体等の現場技能者（作業班長クラス）を対象に、指導者として身に付けるべき知識や技術を習得する研修を実施するとともに、指導ポイントをまとめた簡易マニュアルを作成した。

- ・ コミュニケーション能力向上・コーチング基礎 6人 (研修日数 2日)
- ・ チェーンソー作業・高性能林業機械作業の実習等 6人 (研修日数 4日)

6 「縁の雇用」事業(全森連受託事業)

新規就業者の技能・技術の向上を図るため、各種研修を段階的かつ体系的に実施した。

- ・ フォレストワーカー研修の受講生 46人 (研修日数87日)
- ・ フォレストリーダー研修の受講生 18人 (研修日数16日)

7 森林ボランティア技術研修(みどりの基金受託事業)

森林整備の担い手として森林ボランティアの養成を図るため、刈払機及びチェーンソーの技術研修を実施した。

- ・ 刈払機81人、チェーンソー28人 (研修日数10日)